

第 22 回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会 議事要旨

1. 日 時：令和 2 年 7 月 27 日（月）14：00～15：30

2. 場 所：神奈川県産業振興センター 神奈川中小企業センタービル 13 階 第 2 会議室

3. 要 旨：

- 令和 2 年度の主要渋滞箇所の見直し（解除）方針について審議を行い了承された。
- 新型コロナウイルス情勢に伴う交通状況分析について報告した。
- 最新の取り組み状況として「横浜北西線の開通後の交通状況」「国道 1 号藤沢バイパス出口交差点の交差点改良の状況」について報告した。
- 「道路交通アセスメント制度」「路上荷さばきに起因する渋滞対策」について報告した。

4. 議 事：

神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会規約（案）

- ・ 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会規約（案）は了承された。

（1）議題 1：委員会の検討経緯と論点

- ・ 事務局より委員会の検討経緯と本日の論点について説明した。

（2）議題 2：令和元年度での見直し（解除）の状況

- ・ 事務局より令和元年度での見直し（解除）の状況について報告した。

（3）議題 3：令和 2 年度での見直し（解除）の状況

- ・ 事務局より令和 2 年度での見直し（解除）の状況について報告した。
- ・ 見直し（解除）検討フローに従い、25 箇所をヒアリング対象とすることが了承された。

【質疑・意見】

- ・ 国道 357 号南部市場前交差点がヒアリング対象となっているが、周辺の鳥浜町にアウトレットが拡張リニューアルオープンした関係で渋滞になっている。特に、土日などの休日は 4 km 程度の渋滞が発生している。（県警）
→モニタリングは昨年データで分析しており、アウトレット整備前の結果となっています。実際の交通状況についてはヒアリングや来年度以降のモニタリングで継続的に確認していきたい。（事務局）
→大店立地のアセス等を行っているのか。（委員長）
→大店法のアセスも実施し、国道 357 号に影響を与えないことを想定し迂回させているが、なかなか難しい状況。また、国道 16 号富岡町交差点においても、横須賀方面からアウトレット方面に右折する車両で混雑し、1～2km 程度の渋滞が発生している。
信号機は交通を制御するものであるため、信号のみでの渋滞緩和には限界がある。（県警）
→渋滞が激しいところなので、継続的にモニタリングを行ってほしい。（委員長）

- 見直し解除の方針を示して頂いたが、例えば国道1号戸塚警察署などはいつでも混雑が言われている箇所。それが改善しているが、改善要因等は見ているのか。(横浜市)
 - 指標上は改善しているところであるが、当該交差点は評価区間が長いために速度低下区間が平準化されている可能性がある。評価区間が適切かどうかも踏まえた検討をしていきたい。(事務局)
 - いろいろな視点にたって分析していただきたい。(委員長)
 - 国道1号戸塚警察署交差点は横浜新道の料金が値上げしたため、交通量が分散・変動し速度変化に影響している可能性もある。(川崎国道事務所)
 - 値上げしている影響も想定されるため、引き続き分析していきたい。(事務局)
 - 委員会では利用者の実感に合うように速度で見ているが、交通量自体が変化していることも考えられるため、速度以外の情報も踏まえて検討してほしい。(委員長)

(4) 議題4：新型コロナウイルス情勢に伴う交通状況分析について

- 事務局より、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言期間中における交通状況について報告した。

【質疑・意見】

- 東京などでは自転車交通量が増えたような変化があったかと思うが、自転車が増えたことによる影響があったかなど、確認しているのか。(委員長)
 - 自転車交通が増えたことによる事故の増加は確認していない。(県警)
 - 「新しい生活様式」を検討する上では、特に都市部等では自動車と歩行者・自転車の動線の重複などの影響も考えられるため、気を付けた方がよいのではないかと。(委員長)
- 観光業の関係上、新型コロナウイルスによる交通量等の道路状況の変化は興味がある。特に緊急事態宣言後にアンケート調査を行ったが、コロナ前後で大きく状況が変わっている。コロナ後の観光先は近場で、手段は車が最も多い傾向となっている。今後、国の施策等により旅行需要が活性化すると考えられるため、継続的に調査を行ってほしい。(観光協会)
 - GWは交通量が減少したが、今後交通量の増減については不透明な箇所もあるため、トラフィックカウンターやETC2.0データ等を用いて引き続き分析していきたい。(事務局)
 - 定期的にとれるデータは継続的に捕捉し、観光資源も多数ある神奈川県であるため、観光の観点も含め引き続き状況を確認してほしい。(委員長)
- コロナウイルスの拡大後通勤の車が増加傾向にあるような気がしている。マイカー通勤の短トリップの移動が多い印象がある。今後、分析する際はこのような視点も入れていただけるとありがたい。(川崎市)
 - トリップ長の影響等も含めて今後検討していきたい。(事務局)

(5) 議題 5：最新の取り組み状況の紹介

- 首都高速道路より、横浜北西線の開通後の交通状況について報告した。
- 横浜国道事務所より、国道 1 号藤沢バイパス出口交差点の交差点改良の状況を報告した。

(6) 議題 6：道路交通アセスメント制度の概要

- 関東地方整備局より、道路交通アセスメント制度について報告した。
- 【質疑・意見】
- 情報の共有を十分に行うよう、お願いしたい。(委員長)
- 大店立地法の審査の際に、県内でも駐車場の入口の設置箇所に問題があることが判明したが、すでに建築が進んでおり入口の変更ができない事例があった。なるべく早い段階で調整を行い、影響が少なくなるようにしていくべきである。計画段階で意見を言って実行に移すことが必要かと思う。(委員長)

(7) 議題 7：路上荷さばきに起因する渋滞対策について

- 関東地方整備局より都市内の路上荷さばきに起因する渋滞対策の考え方について報告した。
- 【質疑・意見】
- 交通規制の部署から、路上での荷さばき可能箇所の実態について道路管理者に今後確認するので、実態の確認及び調整にご協力いただきたい。(県警)
→情報の共有を十分に行うよう、お願いしたい。(委員長)
→「荷捌きのスペースを整備している施設」あるいは「スペースを整備しておらず道路上で荷捌きをしている施設」がある。費用負担を誰が行うかという公平性の問題もあるので、引き続き検討を進めて行ってほしい。(委員長)

以上